

2017年11月1日

ウェブサイトリニューアル 新機能イメージ

損害保険料率算出機構

総務企画部

1. ユーザビリティ向上

誰でも容易に直感的に操作できるサイト設計とするとともに、トップページからの情報の流れをユーザーの関心に即して整理し、階層を浅くすることにより、探したい情報に分かりやすくアクセスできるサイト構成に全面的に見直します。また、用語説明等を本文の傍に設置し、専門用語でも理解しやすい構成にしています。

新機能イメージ

【現行サイトでは】

参考純率の算出方法をご説明します。 click

当機構では会員保険会社から報告された契約・支払いに関する大量のデータを基に均質な保険統計を作成し、これを分析するとともに、社会環境の変化を考慮したうえで、保険数理などの合理的な手法を用いて参考純率の算出を行います。

保険用語集【た行】

耐震等級割引
▶ 耐震等級割引

大数の法則

一見偶然に見える事象であっても、大量に観察されればその事象がある規則性をもって発生していることがわかります(例えば、サイコロを振る回数を何千回、何万回と増やしていくほど、それぞれの目の出る確率は6分の1に近づいていきます)。この法則を「大数の法則」といい、当機構ではこの法則を十分に機能させるため、保険会社等から精度の高いデータを大量に収集しています。

特定事案

例えば、「なぜ大量データを用いるのか」と疑問に思った場合、別ページを見に行く必要がありました。

【新サイトでは】

専門用語の説明や周辺知識を設置し、本文を読みながら同時に解説文を参照できます。

当機構では、特に国民生活にわかっていきます

保険会社が販売している損害保険には、様々な種類があります。中でも特に国民生活に密着する保険については、社会・公共的な観点から、公正で妥当な保険料率の算出を通じて安定的な保険の提供が確保される必要があります。このため、当機構では、会員保険会社等から大量のデータを収集し、自動車保険、火災保険、傷害保険、介護費用保険の参考純率および生命保険、地震保険の基準料率を算出し、会員保険会社に提供しています。

本文中のアイコンの付いている文言をクリックしても、解説文を開くことができます。

保険まめ知識

大量のデータを用いる理由

一見偶然に見える事象であっても、データを大量に収集することによって、その事象がある一定の法則を持って発生していることがわかります。これを「大数の法則」といいます。

適正な保険料率を算出するには、この法則を十分に機能させて事故の発生確率などを正確に計算

※画面イメージは制作段階のものです。

2. データをご活用いただくための情報発信拡充

(1) 型式別料率クラス検索

自動車保険の参考純率における型式別の料率クラスを検索できる仕組みを新設し、自動車保険の契約者等に有用な情報を提供します。

新機能イメージ

型式別料率クラス検索

「メーカー・車名」もしくは「型式」からお車の型式別の料率クラスが検索できます。検索結果は、当機構で算出した参考純率上の料率クラスになります。各保険会社で使用している料率クラスとは異なる場合がございますので、自動車保険をご契約する際は各保険会社へご確認ください。

(+) お調べいただけないお車について

メーカー・車名で検索する

普通(白地3ナンバー) ▼

マツダ ▼ CX-5 ▼

メーカー・車名で検索

型式で検索する

自動車タイプ ▼

または

型式を入力

型式で検索

型式別料率クラス

メーカー: マツダ

車名	型式
CX-5	KFEP

保険始期2018年1月1日～12月31日

補償内容	料率クラス
対人賠償責任保険	4
対物賠償責任保険	4
搭乗者傷害保険	4
車両保険	3
AEBの装着による保険料の割引*	対象

保険始期2017年1月1日～12月31日

補償内容	料率クラス
対人賠償責任保険	4
対物賠償責任保険	4
搭乗者傷害保険	4
車両保険	3
AEBの装着による保険料の割引*	-

*保険始期日が2017年1月1日～12月31日は、「AEBの装着による保険料の割引」の導入前のため、一律ハイフン(-)になっています。

もどる

保険料率の算出

- 保険料率の算出
- 自賠責保険基準料率
- 自動車保険参考純率
- 型式別料率クラス検索
- 火災保険参考純率
- 地震保険基準料率
- 傷害保険参考純率

保険まめ知識

- 型式とは +
- 型式別料率クラスとは +
- 改造車とは +
- 型式不明車とは +
- 並行輸入車とは +
- 自動車タイプとは +
- AEBとは +

メーカー・車名を選択するか、型式を入力すると、「型式別料率クラス」が出力されます。

※画面イメージは制作段階のものです。

なお、本機能は、2018年の保険契約を2017年内にお考えの方にもご活用いただけるよう機構ウェブサイトの全面リニューアルより先行して現行サイトにて2017年11月1日に掲載します。

(2) 自賠償保険・地震保険統計速報のグラフ表示等

現在、定例のニュースリリースとして PDF 掲出している自賠償保険・共済統計速報および地震保険統計速報について、傾向をグラフ化させて表示し視覚的利便性を向上させるとともに、エクセルデータの掲出により統計利用の利便性も向上させます。

新機能イメージ

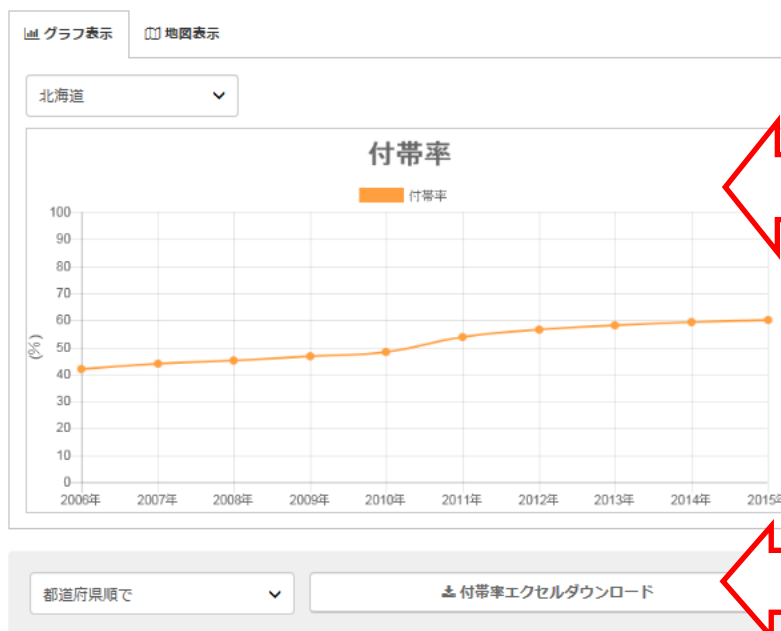
【現行サイトでは】

■地震保険 都道府県別付帯率の推移 (参考) 世帯加入率

都道府県	2011年度 (%)	2012年度 (%)	2013年度 (%)	2014年度 (%)	2015年度 (%)	前年度 (%)	2015年 世帯加入率 (%)
北海道	48.1	49.7	50.5	50.8	51.0	0.2	22.8
青森	55.0	57.7	59.4	60.8	61.8	1.0	19.7
岩手	56.7	61.4	64.0	65.3	66.8	1.5	21.7
宮城	81.1	83.5	85.2	85.3	86.2	0.9	51.5
秋田	59.8	63.2	65.7	67.3	68.5	1.2	20.2
山形	52.1	56.1	57.3	59.1	60.9	1.8	20.1
福島	58.1	64.8	67.0	68.7	70.5	1.8	28.0
茨城	52.5	57.4	59.9	60.3	60.5	0.2	27.9
栃木	50.4	55.4	58.0	60.5	62.2	1.7	26.5
群馬	43.7	47.8	50.1	52.6	54.7	2.1	20.3
埼玉	51.2	55.2	57.2	58.3	58.9	0.6	30.6
千葉	50.5	53.7	55.1	55.8	56.9	1.1	32.9

PDF ファイルを掲載しているだけで、視覚的に傾向が分かりにくいものでした。また、コピー等もできず、統計としての利便性も低いものでした。

【新サイトでは】



グラフで表示され、視覚的に傾向が分かるようになります。グラフは、ニーズに合わせて統計の切り口を変更できます。

Excel での出力も可能になり、統計利用の利便性も向上します。

※画面イメージは制作段階のものです。

なお、自賠償保険・共済統計速報は、これまで会社別での掲載を行っていましたが、本リニューアルを機に、「保険会社計」、「共済計」、「合計」の項目のみとします。

以上